

誰がどこでどんな風に、魅力の発信こそが生き残りの最後の鍵

吉岡俊昭（トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校）

養成校は定員割れ、介護現場は人がいないと悲鳴が聞こえる今、養成校は何をしなければいけないのか。待っていても学生は来ない。広報だけが動いても人は来ない。そのような時代が続き、どの養成校も試行をこらした広報戦略を立て動いている。本校の定員が決して充足しているわけではない。それでも私が介護福祉士として、介護の未来を考え実践している取り組みが、少し成果として出ていることを報告したい。

「種まきをしなければ介護の未来は救えない」

10年以上前から、高校への募集活動だけでは限界があると提唱し、小学校、中学校、高校で福祉の授業を展開している。また介養協の活動だけでも限界があり、他団体や行政と共に様々な活動に取り組み、現在では年間100校以上、1万人以上の児童、学生に出会うまで活動は広がっている。この活動は自分の学校だけにメリットがあるわけではなく、広島県内の養成校、広島県にとっても意味のある活動であると考えている。各校長会では講演の機会をもらい、教職員研修会で介護の魅力を語り、小学校では“心の参加日”で子供と一緒に保護者にも介護の話を聞いてもらう。これによって、夜間一人裸足で歩いていた認知症高齢者を、塾帰りの中学生が交番にお連れし感謝状をもらったことや、「おばあちゃんウザイ」と言っていた小学生が、スマホの使い方を祖母に教えるようになった。何年も会っていない寝たきりの祖父に家族みんなで会いに行ったなど、子供や保護者の「介護」に対するイメージが変わり、今自分たちにできる事は何なのかと考えるようになってきている。これこそが、「介護」のイメージアップにつながり、将来就きたい仕事に「介護」を選ぶきっかけとなっている。

「学生自身が介護の魅力を発信する」

介養協の全国大会でも報告した本校の取り組み、「地域いきいきプロジェクト」がある。この取り組みに魅力を感じて入学してくる学生もいる。地域包括、社協、行政等あらゆる機関と連携し、毎週水曜の午前中を基本に1.2年生5グループに分かれて各地域で活動をしている。介護実習とはまた違う実践の場である。対象者は子供から高齢者まで幅広く、介護を必要としない方々がほとんどである。学生自身が地域とつながり、地域に必要とされることを感じることで、学びであり喜びとなっている。これらの活動により、地域に介護の魅力を種まきをすることが学生にできる。学生のまいた種が学校の魅力として花開く。そんな好循環が少しずつ回り始め、以前は地域の人からあまり認知されてはいなかった介護の学校が、今は地域の福祉を担う寺子屋になりつつある。この取り組みからも、今の学生数を確保できていることを実践として報告したい。

しかし、これだけ活動しても学生が集まらないのも現実である。それでも、この活動がこれからの広島の将来に大きな意味を見出すために、私たち教員が学校の外でどれだけ介護が語れるか、どれだけ多くの人に介護を身近に感じてもらえるか。この実践こそが今後の大きな広報戦略ではないだろうか。目先の生き残りだけでなく、これから私たちが介護を受ける時代に備え、もっと大きなフィールドで、介護福祉士を育てるビジョンを持たなければいけない。それが、今求められる教員のスキルだと思っている。その先で介護に対してのイメージが変わり、自分の将来に介護の仕事を考え、介護福祉士になりたいという流れが作れればと思っている。

第3分科会

誰がどこでどんな風に

魅力の発信こそが生き残りの最後の鍵

トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校
介護福祉学科 学科長 吉岡俊昭

トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校



1997年開校

「医療」「福祉」「保健」における
プロフェッショナルな人材を育成！

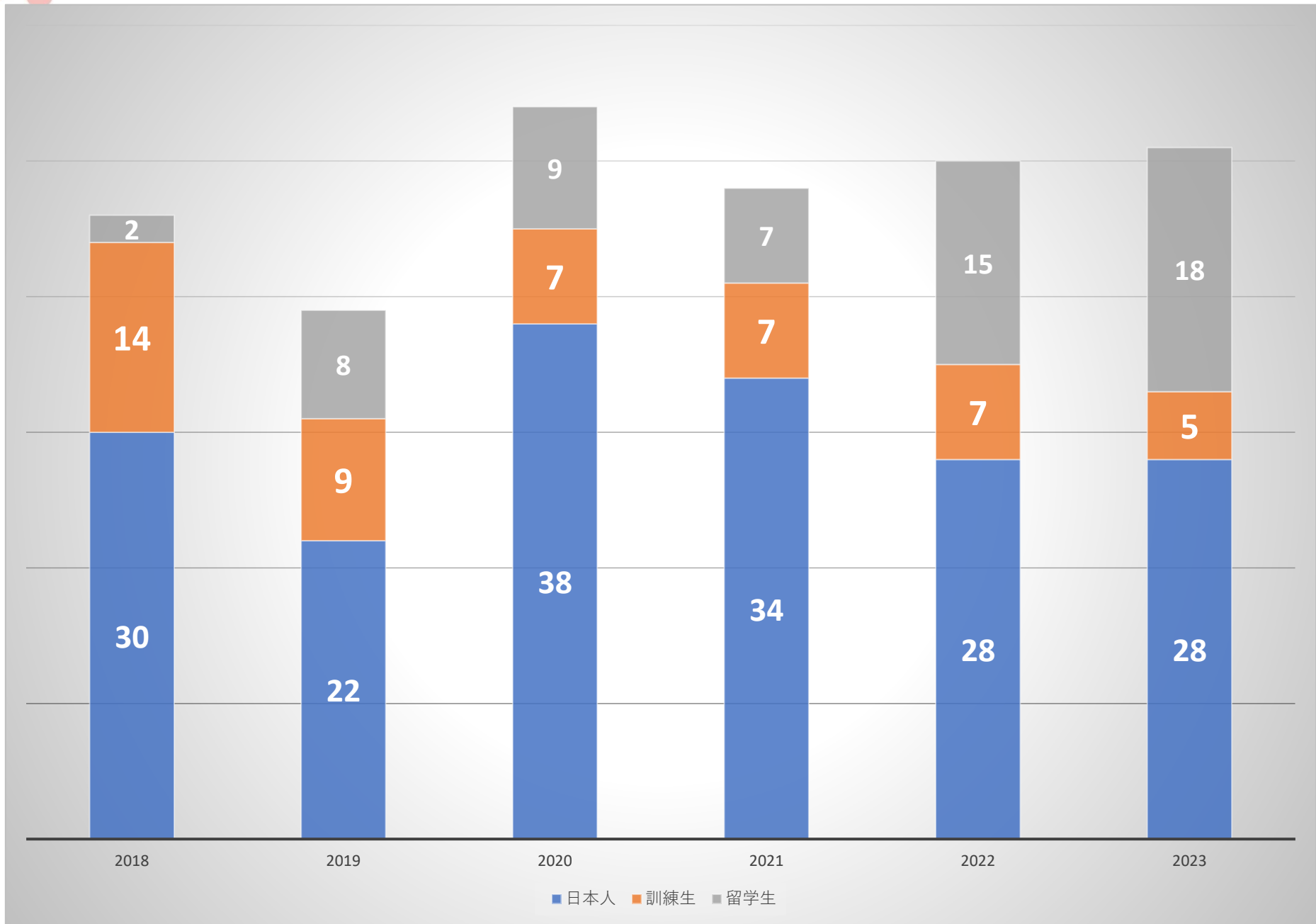


広島市内の中心部に位置し、広島駅から徒歩7分

介護福祉学科
こども保育学科
臨床工学科
＋
日本語学科



介護福祉学科入学生内訳



戦略①

種まきをしなければ 介護の未来は救えない

トリニティカレッジ

小学校

中学校

高校

介護を身近に感じる
自ら今できることを実践する

住みやすい地域
安心して暮らせる地域
そこで子供たちができること

ここが種まき

ここが重要！
介護を選ぶ
きっかけになる

地域





小学校での授業



上半期小・中・高・大の授業一覧

【小学校】

○呉市立仁方小学校	3年生44名
○広島市立八幡東小学校	3年生94名
○広島市立五日市小学校	3年生133名
○広島市立神崎小学校	3年生81名
○三次市立神杉小学校	3年生17名
○広島市立吉島小学校	3年生43名
○東広島市立東西条小学校	3年生78名
○広島市立畑賀小学校	3～4年生68名
○広島三育学院大和小学校	3～6年生5名
○広島市立庚午小学校	4年生142名
○広島市立東野小学校	4年生148名
○福山市立柳津小学校	4年生13名
○府中市立府中明郷学園	4年生23名
○広島市立湯来南小学校	5～6年生44名
○広島市立緑井小学校	5年生108名
○広島市立牛田小学校	5年生202名
○広島市立黄金山小学校	5年生34名
○三次市立三和小学校	5年生15名
○広島市立落合東小学校	6年生74名
○広島市立畑賀小学校	6年生32名
○広島市立白島小学校	6年生85名
○広島市立牛田小学校	6年生218名
○広島市立天満小学校	6年生42名
○広島市立宇品小学校	職員69名
○広島市立畑賀小学校	教職員20名
○広島市立船越小学校	教職員30名
○広島市立安小学校	教職員30名
○広島市立牛田小学校	教員50名
○広島市内小学校校長会	市内校長及び教諭150名

【中学校】

○広島市立安西中学校	1年生150名
○広島市立安佐中学校	1年生240名
○広島市立砂谷中学校	1年生21名
○広島市立楠那中学校	1～2年生60名
○北広島町立大朝中学校	1～3年生31名
○広島市立吉島中学校	2年生125名
○大竹市立大竹中学校	2年生102名
○広島市立五日市観音中学校	2年生156名
○広島市立亀崎中学校	2年生55名
○広島市立高取北中学校	2年生143名
○広島市立祇園中学校	2年生397名
○広島市立白木中学校	2年生30名
○広島市立城山中学校	2年生100名
○広島市立可部中学校	2年生182名
○広島市立船越中学校	2年生55名
○広島市立瀬野川東中学校	2年生207名
○広島中等教育中学校	2～3年生236名
○広島市立美鈴が丘中学校	2～3年生158名
○庄原市立庄原中学校	3年生127名
○大竹市立大竹中学校	3年生96名
○広島市立似島学園中学校	3年生5名
○広島市立大塚中学校	3年生253名
○広島市立幟町中学校	3年生95名
○広島市立祇園東中学校	3年生240名
○広島市立三和中学校	3年生217名
○広島市立落合中学校	3年生115名
○広島市立戸坂中学校	3年生223名
○広島市立仁保中学校	3年生83名
○広島市立亀山中学校	3年生200名
○呉市立両城中学校	3年生42名・教職員4名
○東広島市立八本松中学校	3年生167名
○廿日市市立廿日市中学校	3年生166名
○廿日市市立廿日市中学校	3年生166名
○広島市立日浦中学校	全学年98名
○広島市立戸山中学校	全学年64名
○広島市内小学校校長会	市内校長及び教

【高校】

○広島市立美鈴が丘高等学校	1年生240名
○山陽女学園高等部	1年生25名
○山陽女学園高等部	1～2年生102名
○広島県立沼南高等学校	1～3年生75名
○広島市立広島商業高等学校	2年生176名
○広島市立美鈴が丘高等学校	2年生70名
○広陵高等学校	2年生457名
○広島県立広島工業高等学校	2年生248名
○広島県立三次青陵高等学校	2年生11名
○広島県立吉田高等学校	3年生9名
○広島県立総合技術高等学校	3年生30名
○広島市立沼田高等学校	3年生8名

【大学】

○日本赤十字広島看護大学	1～2年生190名
○広島文教大学	3年生130名

小学校 28校 1942人

中学校 36校 4955人

高校 12校 1451人

大学 2校 320人

78校 8668人

中学生・高校生と介護について 将来の夢について語り合う場を作る



・おばあちゃんが認知症です。できる事ありますか？

・老人ホームのおじいちゃんはもう私のこと分かりませんが、会いに行こうと思います。

・介護福祉士になるために今からしておけばいいことありますか？

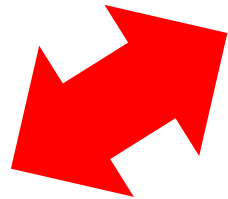
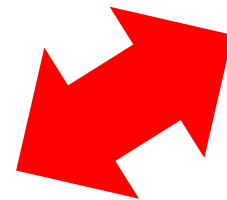
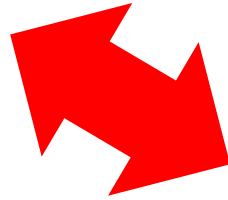
・昨日ばあちゃんにスマホの使い方聞かれて無視しまったから、今日かえって教えてあげます。

・障害がある弟のことをみんなにかくしていたけど、堂々と話すようにします。

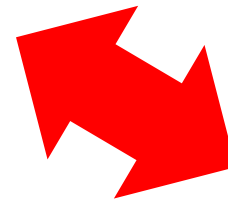


戦略②

学生自身が 介護の魅力を発信する



毎週水曜日の午前中
学びの場が地域になる





トリニティ楽々体操



拠点の学校では地域のお年寄りが集まって体操やゲーム時には一緒に料理もします。

公園では地域の方と一緒にペタンク





地域の高齢者宅も訪問



高齢者のお宅でお庭の剪定



将棋の相手もさせてもらいます

公民館では折り紙教室



地域の小学校でプチ授業



どこから入学希望者が出てくるか分からない

- ・地域の方に学校の備品や空き教室を無料で使用してもらう
- ・地域の会議に積極的に参加する
- ・学生たちが地域のお年寄りと同様になり、自分から声掛けができるようになる
- ・トリニティが小学生や中学生の身近な場所になる





介養協の未来に向けて

そして日本の未来に向けて

- ★待っていても人は来ない、だから行くしかない
- ★学生だけをターゲットにしては未来はない
- ★「介護の魅力を発信する」学生自身が広告塔
- ★授業以外でも汗をかくのが教員の使命
- ★学校だけでなく日本の未来を考えて行動する